

医療介護コミュニケーション—感染症対策

介護施設・事業所等で行う医療安全対策、感染対策等について、おもに在宅、施設介護に従事されている職員の方向けに、情報提供しています。

アクリル板の撤去に迷っている皆さんへ情報提供です！

アクリル板は感染予防に役立っているのでしょうか？

COVID-19が5類へ移行してから、パーテーション（アクリル板）の設置の継続について、介護施設や事業所の皆様方からご質問を頂いていました。今回の医療介護コミュニケーションニュースは、アクリル板の飛沫感染対策効果や設置のメリット、デメリットについて情報提供します。

→ **Check!** 以下の問1と2に、お答え下さい。 →

問1 アクリル板でエアロゾル感染の防御はできますか？

1. 防御できる
2. 防御できない
3. わからない

答え

問2：アクリル板はマスクより飛沫対策に期待出来ますか？

1. マスクより期待できる
2. マスクほど期待出来ない
3. わからない

答え

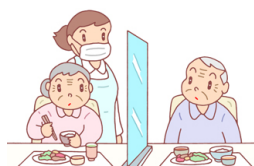
※ すべての記事を読み終わったときに、正解がわかります。



職員宴会場面



関係会議場面



施設昼食場面



施設面会場面

伝言板

NPO法人病院前救護と健康管理研究会 医療介護コミュニケーション広報部

問い合わせ先

(MAIL) p-contact@pchm-kenkyukai.or.jp (HP) <https://pchm-kenkyukai.or.jp>

適切なアクリル板のサイズを、AIに聞いてみました

□ AIはアクリル板の高さについて、以下のように回答してくれました。
・AIの回答→アクリル板を使用した感染対策で、効果的に飛沫遮断するための高さの目安は、デスクやテーブルの面から「顔より高い位置（おおよそ床から1.4m以上の高さ）」が推奨されています。

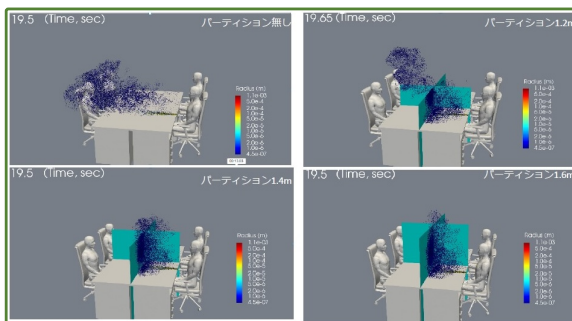
□ AIが推奨する床から1.4m以上の高さは、本当の適切なのでしょうか。
・デスクやテーブルの高さが70cm前後とすると、床から1.4mの高さは、デスクやテーブルの面から70cm程度の高さになります。厚生労働省、行政機関が推奨している高さの目安は概ね「目を覆う程度の高さ」で、AIと同じ意見です。

➡ 床から1.4m以上の高さが飛沫対策の最低条件？

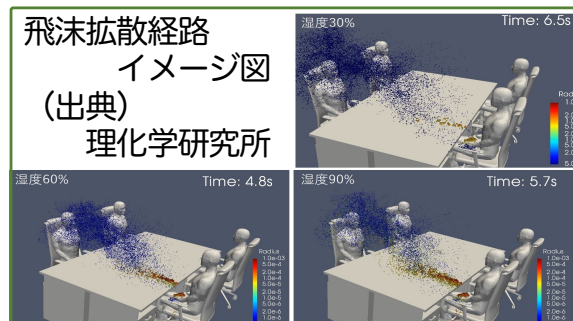
理化学研究所 富岳コンピューターに聞いてみました

介護施設のテーブル面から高さ70cm程度あるアクリル板の飛沫遮断効果について、スーパーコンピューター富岳に聞いてみました。

効果にアクリル板の高さが影響



効果に室内の湿度が影響



- ・1.2mの高さ（口が隠れる程度）のアクリル板の高さでは、対面する人への飛沫防止効果は少なく、真横の人へは100%飛沫が届いている。
- ・1.4m以上（顔が隠れる程度）のアクリル板の高さでは、飛沫遮断の効果はあるが、エアロゾルが発生しやすくなる
- ・アクリル板が高くなると室内の換気にむらができ、エアロゾルが蓄積しやすくなる
- ・相対的に湿度が低くなると机に落下する飛沫量が減り、エアロゾル化して空中に浮遊する飛沫量が増える。

➡ 結局、高くてもダメ、低くてもダメ、換気も悪い？

アクリル板の撤去に迷っている皆さんへ情報提供です！



パーテーション（アクリル板）のメリット・デメリット

ネット検索して、「感染対策のことを比較的わかっている人」の定義に当てはまる皆さん（筆者の私見）のコメントをいくつかご紹介します。

Check!

- 机に設置したアクリル板が感染対策に役立つ可能性は低く、室内換気を妨げる可能性が高い。
- パーテーション（アクリル板）に期待されたのは、会話で発せられた比較的大きな飛沫が対面の相手に飛ぶ前に物理的に遮断する飛沫感染対策である。しかしながら、数多くの感染対策が同時に実施されている中では、パーテーション設置の効果を評価することは困難である。
- 除菌、清掃が困難なアクリル板表面のウイルス量は、増えることはあっても減ることはない。ウイルスが室内に蓄積するだけである。
- 頭くらいの高さのアクリル板があれば対面への飛沫を防げると考えていたが、当初の考えは間違っていた。エアロゾル感染を起こすウイルスにはアクリル板の効果は低い。
- 効果が検証された対策（ワクチン接種、マスク着用、換気）に力を注ぐべきである。アクリル板の効果は全く検証されていない。
- アクリル板によってウイルスから守られているという錯覚にならないようにすることが重要である。
- アクリル板の影響で室内の換気が悪くなると、エアロゾル感染が増える可能性がある。
- 飲食店等は行政の認証を得るためだけにアクリル板を設置し、アクリル板表面の汚染に対する対策や換気対策などには無関心である。
- アクリル板設置で、店内の換気が効率的に行われなくなる可能性がある。
- エアロゾルについては、パーテーションで十分な遮断はできない。



アクリル板設置効果は少なくデメリットの意見が多い



- マスク着けてフェイスシールド着けると、飛沫感染対策には有効です。一方、マスク着けずにフェイスシールドだけ着けても、飛沫予防効果ほとんどゼロです。テーブル上のアクリル板に頼り、マスクなしのフェイスシールドと同じような状況になっていないか、注意しましょう。
- 多くの人が集まりマスクを着けていない状況（例えば介護施設の昼食時間、会社の職員食堂内）では、テーブル上のアクリル板に頼っても、十分な飛沫感染対策は期待出来ません。アクリル板のメリットよりも、デメリットについて、十分確認しておきましょう。アクリル板に頼りすぎて、他の対策が疎かにならないように、注意しましょう。
- インフルエンザウイルス、コロナウイルスの飛沫対策では、効果が期待出来る対策を最優先に、確実に実践すれば、アクリル板のメリット分は十分補完できます。

➡ **アクリル板は、十分な心構えが出来てから撤去しましょう。**

飛沫感染防止の効果が期待出来る複数の対策



● ウイルス持ちこみ対策

- ・ 症状（熱、咳、痰）のある職員（申告）利用者（観察）の早期発見
- ・ 呼吸以外の症状（だるさ、嘔気、下痢、関節痛）がある利用者監視
- ・ 有症状者（疑い含む）は数日間、少人数の活動エリアで生活、観察
- ・ 施設職員、外部委託職員は、体調不良の申告を欠かさないこと

● 施設内飛沫拡散対策

- ・ 職員の就業前、終業時の2回の検温（0.5℃以上の体温上昇チェック）
- ・ 人と人の間の距離が確保しやすいレイアウトの工夫
- ・ 正しい効果的な換気（扇風機の首振り禁止、寒い日の窓開け不要）

⇒ 次回コミュニケーションニュースで換気について特集配信予定

- ・ 普段の対策の励行（マスク着用、手指衛生、環境清掃・除菌）
- ・ 集団の90%を目指したワクチン接種（職員、入所者等すべて）



①記事をすべて読んで理解された施設

②最初のクイズに正解した施設

③複数の効果的対策を確実に実行する施設

①②③の合格施設 ⇒ アクリル板を撤去して大丈夫です